



小田の池の自然環境に対するやさしさとは、

具体的にはどういうことでしょうか。少し考えてみましょう。

● 湿原には、やたらに入らないようにすること。

湿原に多くの人が入ると、湿原が固くなって水を含みにくくなったり植物を踏み荒らすだけでなく、靴や服に付いてきた湿原に今までなかった草や木の種が入り込み、湿原の植物やそこに住む昆虫などにも大きな影響を及ぼすでしょう。



● 草原の中を車で乗り回したりしないこと。

わたちから裸地化がすすみ、池の中に土がたくさん流れ込んでしまい、水質を悪化させたり、長い間には、池を埋めてしまうことになっていきます。



● ゴミを必ず持ち帰ること。

ちらかったゴミは、景観を損ねるだけでなく、生態系にも大きな影響を与えます。



● 一度にたくさんの木を切ってしまうこと。

池のまわりの森林は、降った雨を土じょうにしみこませ、小田の池に徐々に水を供給しています。森林がなくなると池への水の供給が不安定になったり、供給できなくなります。



● 池のまわりの地形を大きく変えたりしないこと。

池のまわりで大きく地形を変える行為をしたり、建物を建てたりすると池に水を供給できなくなったり、排水で水が汚れたりして、池や湿原に大きな影響を及ぼします。



小田の池は、交通の便も良く、人が簡単に近づけるところです。それだけに多くの人々が小田の池の自然を楽しみに訪れます。

私たちの子孫も私たちと同じようにこの豊かな自然環境を持った小田の池に親しむことができるよう、やさしく小田の池と付き合っていかなければなりません。

自然環境へのやさしさ＝保全には、いろいろな問題もあります。たとえば、小田の池の周囲は、人々が野焼きをしたり採草をしたりして大切にしてきた、つまり人間がかかわることによって草原という姿を保ってきました。しかし、その草原も人間が手を加えることを止め、放っておけばゆっくりと森林に変わっていきます。そして、森林に変われば、草原に生育していた植物やそれを食べていた昆虫はいなくなってしまうでしょう。

どちらが小田の池の環境にふさわしいのか、簡単に決められない問題です。もっとも小田の池のこと、自然のことを知ってから、みんなで一緒に考えてみる必要があるでしょう。